

# I . 調査概要

## 報告書のみかた

- (1) 比率はすべて、各設問の不明・無回答を除く集計対象者数（付問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- (2) 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。
- (3) 2つの選択肢を集約した場合（「同感する」と「どちらかといえば同感する方である」を合計した『同感する』など）は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。また、他の項目との比較（過去調査との差や性差など）におけるポイント差は、小数第2位以下も有効数字として算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の差と一致しない場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。
- (5) 図中の「N」は集計対象者数（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- (6) 回答者数は、各地域の抽出率の差を調整するため、回収数にウェイトを加重し規正した。これは標本数の配分にあたり、湖西地域は他の6地域（大津、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北）の2倍のウェイトを加重して抽出したためである。



# I. 調査概要

---

## 1. 調査目的

滋賀県における男女共同参画に関する意識と実態を把握し、今後の男女共同参画社会の実現に向けた施策に役立てるための基礎資料とする。

## 2. 調査概要

- (1) 調査地域 : 滋賀県全域 (全市町から対象者抽出)
- (2) 調査対象 : 県内在住の18歳以上の男女 3,000人
- (3) 抽出方法 : 選挙人名簿を元に層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法 : 郵送法・オンライン調査法※の併用、無記名方式、督促1回
  - ※オンライン調査は、県が運用している「しがネット受付サービス」(インターネットを利用して申請や申込等の手続きができるサービス)の利用によることとした。全対象者に、個別の「利用者ID」と「パスワード」を付与し、「しがネット受付サービス」内の「男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査」のフォームにログインして、回答してもらった。
- (5) 調査期間 : 令和元年9月10日(火)～10月4日(金)
- (6) 有効回収率 : 41.1% (有効回答件数 : 1,234件)
- (7) 調査機関 : 株式会社 地域未来研究所

## 3. 調査項目

- (1) 男女の地位に関する意識について
- (2) 男性の参画について
- (3) 家庭生活や地域活動について
- (4) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について
- (5) 女性の働き方について
- (6) 男女間の暴力について
- (7) 男女共同参画社会について

## 4. 標本構成

### (1) 層化

県内の市町を7地域に層化した。

大津地域	大津市
湖南地域	草津市、守山市、栗東市、野洲市
甲賀地域	甲賀市、湖南市
東近江地域	近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町
湖東地域	彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
湖北地域	長浜市、米原市
湖西地域	高島市

### (2) 標本数の配分

各地域規模の層における18歳以上の人口構成比を基に、3,000件の標本数を比例配分した。その際、各地域とも統計的な信頼度が確保できるように、以下のとおりの抽出ウェイトを設定した。

地域別の抽出数が異なるため、回収数に集計ウェイトを加重し、補正した。調査結果は、この「規正標本数」を基数として集計を行った。

	18歳以上 人口 (人)	抽出 ウェイト	抽出 地点	標本数 (人)	有効 回収数 (件)	集計 ウェイト	規正 標本数 (件)
大津地域	281,976	1 / 2	48	708	273	2	546
湖南地域	269,551	1 / 2	47	678	284	2	568
甲賀地域	117,204	1 / 2	21	294	102	2	204
東近江地域	186,920	1 / 2	33	469	198	2	396
湖東地域	126,269	1 / 2	25	318	140	2	280
湖北地域	128,652	1 / 2	23	323	150	2	300
湖西地域	41,734	1	14	210	84	1	84
不明・無回答					3	—	3
合計	1,152,306	—	211	3,000	1,234	—	2,381

注1) 抽出地点は、平成27年度国勢調査時に設定された調査区を使用した。

注2) 人口は、令和元年6月1日現在の「選挙人名簿定時登録者数」から算出した。

### (3) 調査票の回収結果

有効回答数は1,234件で、有効回収率は全体で41.1%となり、それぞれの地域の回収率は以下のとおりであった。

	標本数 (人)	有効回収数 (件)		有効回収率 (%)	※参考 ネット回答割合
			うちネット回答		
大津地域	708	273	37	38.6	13.6%
湖南地域	678	284	46	41.9	16.2%
甲賀地域	294	102	8	34.7	7.8%
東近江地域	469	198	26	42.2	13.1%
湖東地域	318	140	15	44.0	10.7%
湖北地域	323	150	9	46.4	6.0%
湖西地域	210	84	3	40.0	3.6%
不明・無回答		3	0	—	0.0%
合計	3,000	1,234	144	41.1	11.7%

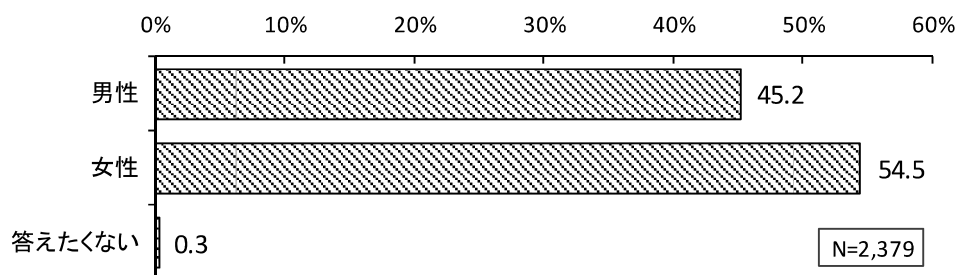
※ネット回答割合は、有効回収数（郵送+オンライン）に占めるネット回答の割合

## 5. 回答者の属性

ここでは回答者の属性について、性別、年代別、性・年代別、居住地域別、職業別、既婚・未婚別と配偶者の職業別、家族構成別で結果を示す。

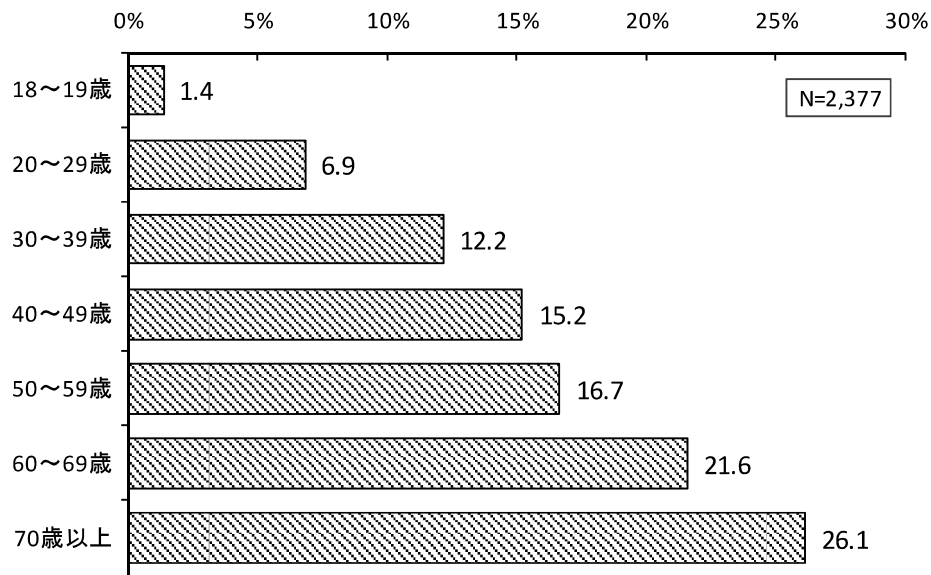
### (1) 性別

性別は、「女性」が54.5%、「男性」が45.2%となっている。



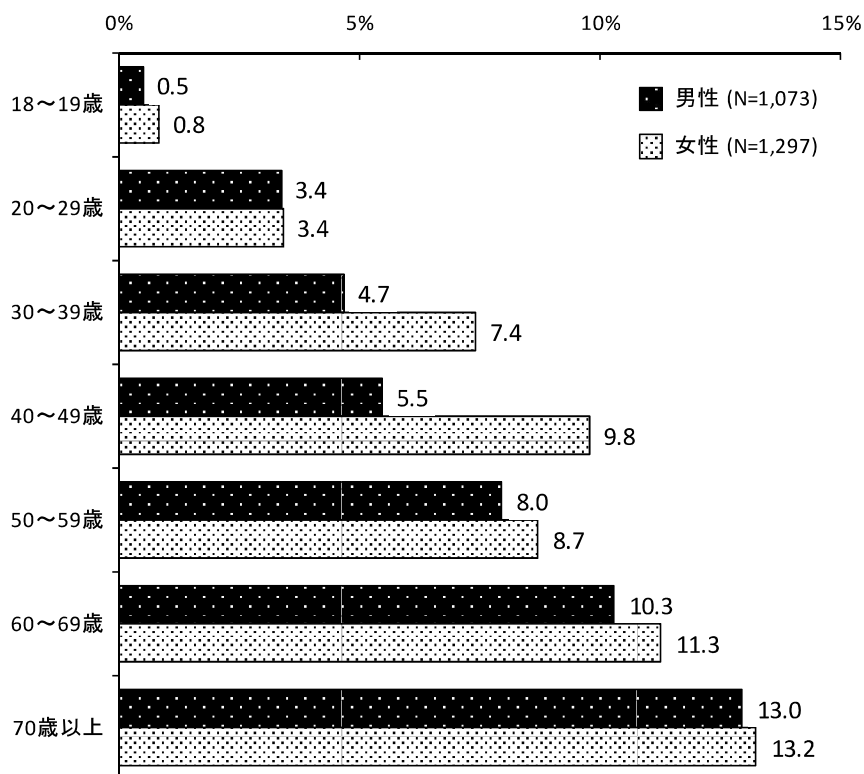
## (2) 年代別

年代は、「70歳以上」が26.1%で最も多く、以下「60～69歳」が21.6%、「50～59歳」が16.7%と続いている。

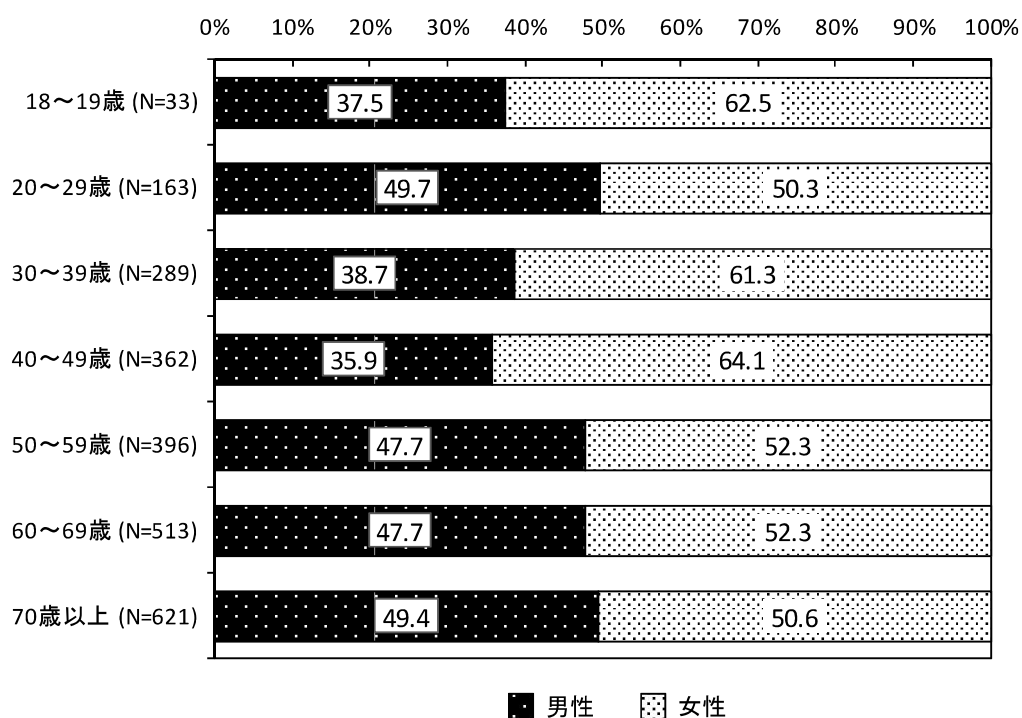


## (3) 性・年代別

性・年代別にみると、70歳以上の女性が最も多く、以下、70歳以上の男性、60～69歳の女性と続いている。

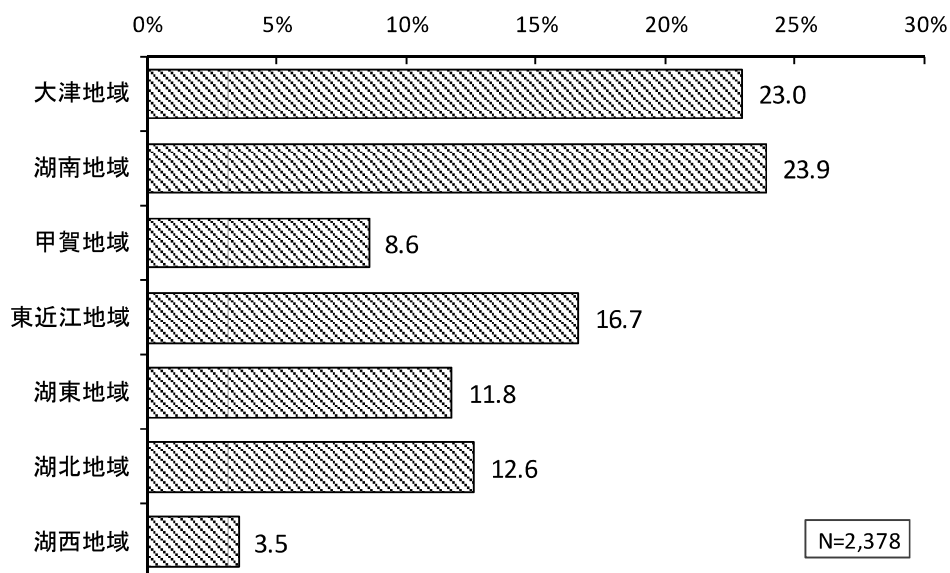


性・年代別の構成をみると、すべての年代で女性が50%以上を占め、男性の比率を上回っている。特に、18～19歳と30～49歳では女性の比率が6割以上となっている。



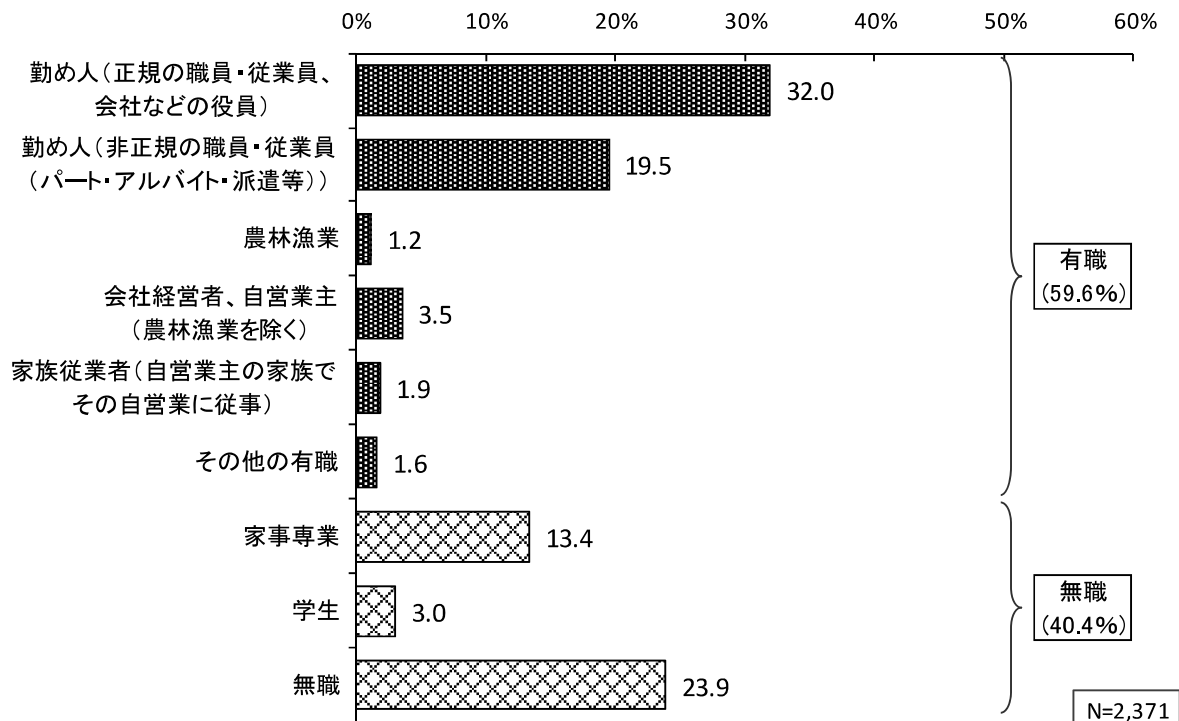
#### (4) 居住地域別

居住地域は、「湖南地域」が23.9%で最も多く、以下「大津地域」が23.0%、「東近江地域」が16.7%と続いている。



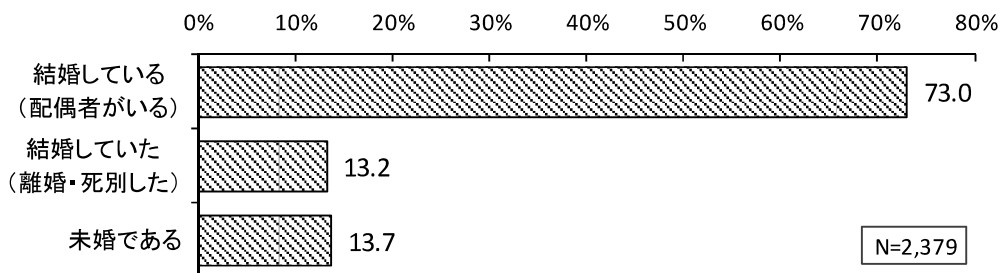
### (5) 職業別

職業は、『有職』が59.6%となっており、そのうち「勤め人(正規の職員・従業員、会社などの役員)」が32.0%で最も多く、次いで「勤め人(非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・派遣等))」が19.5%となっている。これに対して『無職』は全体の40.4%で、そのうち「無職」が23.9%、「家事専業」が13.4%となっている。



### (6) 婚姻状況別

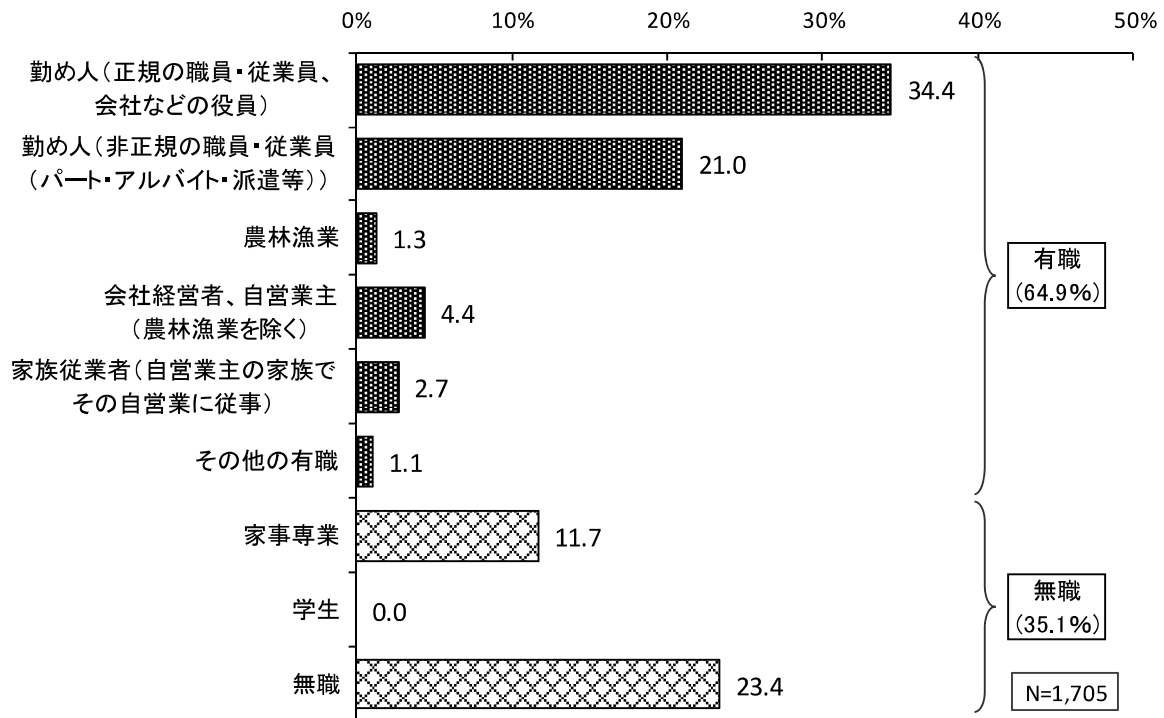
結婚については、「結婚している(配偶者がいる)」が73.0%となっている。





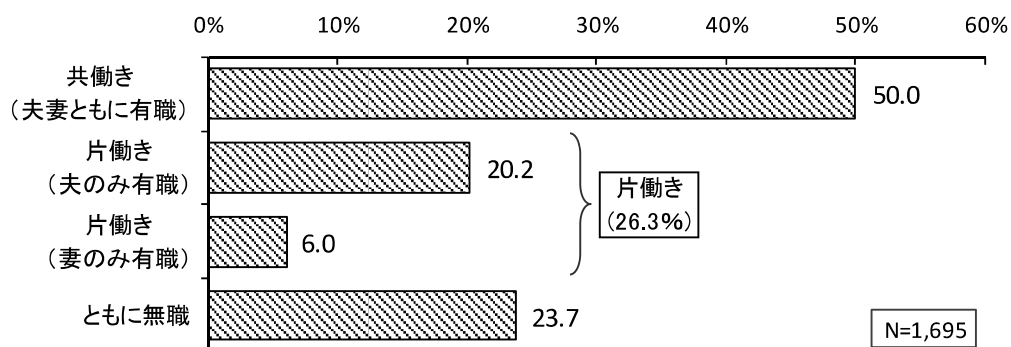
### (付問1) 配偶者の職業別

「結婚している(配偶者がいる)」と回答した人に対して、配偶者の職業をたずねたところ、『有職』が64.9%となっており、そのうち「勤め人(正規の職員・従業員、会社などの役員)」が34.4%で最も多く、次いで「勤め人(非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・派遣等))」が21.0%となっている。これに対して『無職』は全体の35.1%で、そのうち「無職」が23.4%、「家事専業」が11.7%となっている。



### (回答者と配偶者の職業)

回答者と配偶者の職業をみると、『共働き(夫妻ともに有職)』が50.0%で最も多く、次いで『ともに無職』が23.7%となっている。また、夫または妻のどちらかのみが働いている『片働き』は26.3%である。



## (7) 家族構成

家族構成は、「二世世代世帯(親と未婚の子ども)」が38.9%で最も多く、次いで「一世世代世帯(夫婦だけ)」が29.7%となっている。「単身世帯(1人暮らし)」は9.3%である。

